

休日向上計画

佐藤 透¹⁾

Toru SATOH

1) 医療法人社団涼風会佐藤脳神経外科

〒729-0104 広島県福山市松永町 5-23-23

<http://www.ryofukai.jp/>

<http://poru0665.blog92.fc2.com/>



The NISEKO Classic ～オープン・サイクル・レース～

チャリ漕ぎお出かけ

“瀬戸内しまなみ海道サイクリング尾道大会～第2回銀輪パラダイス～”(2014年, vol.24 no.10 参照)に初参加してからというもの, 自力^{この}を恃む己が頼りのチャリ漕ぎの面白さに嵌ってしまった。その後も, 第3回しまなみ海道サイクリング今治大会, サイクリングしまなみ国際大会, しまなみ海道縦走スタンプラリーに参加, 完走。合間には, しまなみの島々をくまな

く巡り, 亀老山, 小豆島, 石鎚山のヒルクライムにも挑戦。大山, 呉・江田島へ, 遠くは秋芳洞・秋吉台と周防大島には, バックにチャリを詰めて新幹線で輸行。いつものチャリ友とごいっしょに, たまにはおひとりさまで, はたまた息子とつるんで, いずこもみな楽しき時間であった。

ニセコ・クラシック自転車競技に参戦

チャリ漕ぎ歴もはや2年, どこか遠くにお出かけしたいなあ。Sports Entry をサーフィン, これこれ, これはどう? 北海道はニセコ町で7月12日(日)に開催される“The NISEKO Classic”(図1), オープン・サイクル・レース～いいかも。



図1 The NISEKO Classic, 2015年7月12日開催



図2 額縁の窓, 愛チャリと白樺林, その向こうに蝦夷富士=羊蹄山ビュー

行ってきやんしたあ〜ほっきゃあどお。岡山空港からシロクマくん ANA Air Do で新千歳空港着，空港からニッポン・レンタカーまで送迎バス 10 分。ご用意の N-BOX で，カーナビ頼りにレッツラゴン。長旅着いたぜお宿のヒルトン・ニセコ・ビレッジ・ホテル，愛チャリはすでにご到着，早速お部屋で組立てる。窓の外には白樺林，その向こうに雄大な蝦夷富士＝羊蹄山がびゅ〜うっと迫る，贅沢な額縁の窓（図 2）。今夜はご当地グルメ＝ジンギスカン羊焼肉で栄養つけとこう。きょうびホテル満室だけど，日本人客は 30%，中国人 40%，韓国ほか 30%，わが日本のリゾート・ホテルは国際色豊かだべ。

レース当日受付と出走審査

7/12（日）レース当日は快晴の猛暑。5：30 起床，朝いち露天風呂ひゃあ〜て，ローソンにぎりで腹ごしらえ。お隣り蘭越町は尻別川の河川敷，ランラン公園に 7：00 着，ここが出発会場だ。愛チャリ降ろしてハイチャ受付，待ってたホイ，ゼッケン 459 と計測器を受け取る。お次は出走サインと競技審判審査（図 3）。



図 3 競技審判審査と出走サイン，これダメですよ〜厳しかバイ

この日がために用意した車載カメラ 2 台，これダメですよ，ええっいけませんかあ〜さもありなん。フロント・ライトもテール・ライトもサイド・ミラーもバック・パックもダメです〜全部外してください。エエっそうなん？これじゃ愛チャリはすっぴんピンの丸裸じゃん。今日は，そんじょそこらのお祭りイベントじゃない，男勝負のレースだけ。

今度こそダイジャビン。これダメだめですよ。何にい〜い？！ペットボトルもだめでっか。競技用のボトルでないといけません。どっかエイドはあるの？このレースに補給所はありません。そうなの？この暑さに脱水・熱中症，どうしてくれる？上着後ろのポケットならいいですよ。しゃあねえべ，バック・ポケチにボトル 1 本だけ捻じ込んで，これっぼっち，水分補給は大丈夫かな？

レース序盤の実況中継

出走 30 分前，みなさん川岸土手に移動して 5 列整列，ピストル合図に 8：35 スタートだ（図 4）。お団子混雑の土手を通って，登り坂は大渋滞。とろい集団を尻目に，右側通行で一気に駆け上がる，ほらみろ 30～40 台はぶっこ抜いちまったぜ〜あれあれこっち通っちゃいけんのとちゃう？まだまだ続く上り坂，あと



図 4 スタートは 5 列に整列，おそろで合図を待つ

からあとからドンドン追い越された。みなさんお速いこと、褒めてる場合じゃねえ、しっかと前を見据えて漕ぐあるのみ。う～ん先頭はとっくに見えなくなっちゃった。沿道からの声援、がんばってえ～え、手を振り応えて愛嬌振りまく～そんなバイバイじゃねえべ～ドン尻かぁ？ ヤバイぜ。

日本海からの強烈な向かい風を突っ切っていると、お兄さんチャリダーが追い抜いてく。ひと言“後ろに入ってください”，”よっしゃよっしゃ”，防風チャリ・トレインができればダイジャビン、な～るほどペダルが軽くなってきた。今度はオイラが先導しゃんしょ～偶然相棒とつるんで余裕の走り。雷電国道 229 に出て尻別川河口橋を渡ると、右手に海らしき風景がチラリ。あれが日本海でっか？ そうですね、あそこだけ？ な～んだそれっぽちか。どちらから来られました？ 札幌で仕事、実家は函館この向こうです。オイラはるばる広島・福山からです。しまなみ海道いいですよ、あそこ行きました、親戚が松山おるもんで、な～んだ全国区ですね。いつものイベントのノリだから、真剣レースの心構えがなっとらんう。

軽快に走っていると、後ろから広報車～こちらはニセコ・クラシック実行委員会です、140 km コースの先頭集団がやって来ます。おいおい、超速いのがやってくるでな。よいしょ、そいじゃあ～ツイン・ターボの



図 5 あっ、あそこにカメラめっけ、ニッコリ笑顔でピースだ

オーバー・ブースト・モードで最大トルクを上げて、瞬間全力疾走しちゃろ。ひゅい～ん、あれあれ今のは何？ 新幹線のごみ号か？ 3 台もつれのデッド・ヒート、ぶっ飛んでっちゃった、こりゃあかなわん。ああ～しもたあ～無駄なエネルギー使こうてもうた、あ～ちかれた B。

名駒郵便局を左折して尻別川にかかる日の出橋地点、道端で構えるカメラマンめっけ。あっあそこにカメラだ、ニッコリ笑顔で応えて、ピースのおまけ (図 5)。きゃっ楽しそう！～こりゃこりゃ！～ドン尻チャリダーにゃあそんな余裕はねえじゃろ？ いつの間にやら相棒の姿が見えなくなってる。蘭越ランラン公園から日本海まで折り返して戻るレースの前半戦。ここまで $8:35 - 10:02 = 37.0 \text{ km} / 1\text{h}27 \text{ min} = 25.5 \text{ km/h}$ ～オイラとしてはまずまずのペースだ。

第 1 脚切 (あしきり) 関門

国道 226 から国道 268 へ、ここからニセコまで、標高差 $400 \text{ m} =$ 山岳賞の長～い上り坂、平均斜度 4.1% ぽちちだけど 10.3 km 延々と続く。行けども行けども登れども登れども坂ばっかし～坂バカだあ。いちいにい～さんしい、ペダルを数えながら、遅くてもいい～たくましく漕いでほしい～丸大ハムかぁ？ 100 数えて 200 数えて……。もうとっくに 1,000 超えてる。あともちょっとで峠だあ、その向こうにゃご褒美の激坂



図 6 第 1 脚切 (あしきり) 関門, リミットはゲゲゲッ, 11:10 だった

下りのパラダイスがある！ 坂の途上では～あれあれあの人、道路脇でよたってらあ～あ、ご休憩中かな？ 暑いですねえ？ 軽い会釈で無返答～35℃の炎天下、こりゃあ熱中症？ 大丈夫かな？

てなところに、最後尾の広報車とパトカーがおいでんさる。こちらはニセコ・クラシック実行委員会です、ただいまから交通規制が解除となります。あれあれもう解除なさるん？ ってことは、そっかあ脚切時間＝11:10が迫ってるでな、あともちょっとだあ(図6)。あれあれ、第1脚切関門で競技審判さまお成りい～ただいま11:12、タイムオーバーです。ええっそんなあ～あ、ほんの2分ぼっちじゃん、8:30スタートが5分遅れの8:35だったんじゃから、ちいたあ大目に見てよ、規則は規則、ダメなものはダメ。

この頑固親父クソ爺いめえ～って言い返す元気もない。喉乾いたあ水ありまっか？ ポカリ2本いただいて、ぐぐっと一気に飲み干して、体が潤うとドッと疲れが押し寄せてきた。やっぱこれは脱水状態＝熱中症っぽい～危なかったんだ。登坂路は、10:02 - 11:12 = 10.25 km / 1h10 min = 8.8 km/h ～がんばりましたあ。ここまで、8:35 - 11:12 = 47.3 km / 2h37 min = 18.1 km/h の成績でタイムアップ、中途リタイヤ、Did Not Finish = DNF 終了。



図7 脚切バスで行く落穂拾いの旅、あつ、そこもここにもめっけ

脚切バスで行く落穂拾いの旅

やれやれ、案外素直に脚切バス(選手収容車)に捕獲され、愛チャリは後続のトラックに収納。これからゴールまでは15 km、収容者仲間と行く、ミレーの落穂拾いの旅だ(図7)。先住民が4名～さっきご休憩のお方～いやあ暑かったですね、悔しさに言葉少なく相憐れむ。道中、ギブアップして道路脇でバスを待つ人たちを収容する。おるおる、どこどこ？ あそこにもここにも、あちゅう間に15名ほどが勢ぞろい。な～んだみなさんお仲間じゃん、元気が出るな。

やっとゴールのニセコ・グラン・ヒラフスキー場マウンテン・センターに到着。お世話ににやらんした、大会関係者と運ちゃんにお礼のご挨拶してハイチャ。こんちきしょう～わざわざ広島は福山くんだりから、あれこれやりくりして来たんじゃけど、中途挫折だあ。もうちょっと融通効かしてくれてもいいじゃん。

積荷の愛チャリを降ろすにゃ順番待ち～行列のできるトラックだ。やっと出て来た、オイラの愛チャリ(図8)。いやあ元気にしたかや？ そじゃろそうじゃろモチイと走りたかったろう、わかるわかる、じっと我慢の子であった、大五郎～チャンかあ、残念！～波田陽



図8 愛チャリ受け取り記念ショット、もうチイト走りたかったな

区だ。競技結果は、70 km レース出走者 = 215 名、完走者 = 198 名、DNF リタイヤ = 17 名、トップは 2:05:46、プービーは 3:21:09。

戦い終えて日が暮れて

ホテルに戻って、愛チャリ分解・箱詰め完了、ホテル・フロントに預けて、露天風呂で汗を流す。名残り惜しきやニセコの街と羊蹄山、後に心は残れども残しかならぬこの体（戦友）～さあさあ急いで急いで、一路新千歳空港までレンタカーお帰りだ。

第2回 The NISEKO Classic-2015, 北海道西部のニ

セコ地方の公道を使うロード・レース。いやはや大変なホンチャンさまのサイクル・レースだった。知らぬ存ぜぬのド素人さまにゃ無謀な挑戦、そりゃあ～お門違ってもんじゃ焼き、豆腐の角で頭を打ったみたいだ。初めてのサイクル・レース挑戦は中途リタイヤ、ほろ苦くもいい体験、わくわくドキドキの楽しい時間だった。日々是好日、何事も日ごろのトレーニング、研鑽の積み重ねが大切じゃってこと、よ～くお勉強できました。

(還暦の記念日に)